

田中義一関係文書（所蔵） 目録

●この資料はマイクロフィルムでの閲覧になります。資料をご請求の際には、文書名とマイクロフィルムのリール番号をご記入ください。

2013年8月作成
2014年9月更新

国立国会図書館憲政資料室

田中義一関係文書（所蔵）目録 【凡例】

- ・ 書簡は「田中義一関係」と「田中龍夫関係」に分け、それぞれ差出人の五十音順に収録した。
- ・ 書類は年代順に収録した。
- ・ 推定可能な情報については〔 〕を付して記載した。
- ・ 軸装資料は目録末尾（資料番号137～142）に掲載したが、各々の収録資料については目録上に分出して、書簡は五十音順、書類は年代順に収録した。
なお、マイクロフィルムのコマ番号は、目録末尾では外箱・装丁を含めた軸全体としてのコマ番号を記載し、目録上に分出して収録した際には各書簡部分のみのコマ番号を記載した。

田中義一関係文書（所蔵）目録 【目次】

1. 書簡（田中義一関係）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 1
2. 書簡（田中龍夫関係）	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 10
3. 書類	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 10
4. 軸装資料		
※「1. 書簡（田中義一関係）」と「3. 書類」に分出した重複データあり	・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 12

田中義一関係文書(所蔵)

リール 番号	コマ番 号	資料 番号	枝 番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述 法	用紙	備考	数量	付属資料
1. 書簡 (田中義一関係)													
1	001	1		秋山練造書簡	秋山練造	田中義一	大正14年4月25日	先頃は汽車中拝眉仕り、又先日は御勇退被遊、在職中の御高誼を拝謝	墨書			1通	封筒
1	009	2		安藤忠治郎書簡	安藤忠治郎	田中義一	大正14年3月6日	中等学校以上ノ生徒ニ軍事教育ヲ施シテ国防ノ資ニ充テラレ候、現下ノ大意ハ国際間ノ外敵ヨリモ内敵ヲ一日モ早く調伏、内敵トハ曰ククサレ政党打破	墨書			1通	封筒、別紙「医界引退謹告」
1	021	3		五百木良三書簡	五百木良三	田中義一	昭和2年4月19日	例の福田雅太郎氏の事、山路一善君も何らか適処あらば拾ひ上げられ候	墨書			1通	封筒
1	032	4		五百木良三書簡	五百木良三	田中義一	昭和2年4月25日	次の組閣は偶然にも其の結果に於て小生らの希望容れられ、上院研究会を加味せざりし一事、外務次官の松岡君抜擢は未だ、同君を以第一の適材と確信	墨書			1通	封筒
1	046	5		石黒忠恵書簡	石黒忠恵	田中義一	昭和3年11月30日	御大典諸行事無御滞、今回御大典ニ対し一般民心之活況特ニ関西地方ニ於ては	墨書			1通	封筒
1	055	6		上原勇作書簡	上原勇作	田中義一	〔大正10年〕7月21日	小田原ニ於テハ其後例之一条ニ関シ如何ニ状況御聞込ニヤ、勇作身上ノ始末ニ就てハ	墨書			1通	封筒
1	065	7		円藤作蔵書簡	円藤作蔵	田中義一	大正14年4月14日	大将閣下現役御勇退ニ際シ、御礼旁御挨拶	墨書			1通	封筒
1	073	8		大沢辰次郎書簡	大沢辰次郎	田中義一	昭和3年10月15日	桂公立党当時之意見及加藤伯後藤子衝突当時之事情書類ニより閣下之御参考ニ供し度	墨書			1通	封筒
1	080	9		大島又彦書簡	大島又彦	田中義一	大正14年4月23日	陸軍御勇退被遊、多年ノ恩誼ヲ深謝	墨書			1通	封筒
1	086	10		大谷光暢書簡	大谷光暢	田中義一	昭和4年7月3日	台閣ノ重責ヲ辞シ	墨書			1通	封筒
1	094	11		大谷尊由書簡	大谷尊由	田中義一	昭和2年4月21日	今回内閣総理大臣之御栄職ニ御親任、大慶之至	墨書			1通	封筒
1	102	12		大村有隣書簡	大村有隣	田中義一	大正14年4月30日	断然政界へ御投候、御多忙中にも不拘態々御挨拶を賜り誠ニ恐縮	墨書			1通	封筒
1	109	13		岡崎邦輔書簡	岡崎邦輔	田中義一	〔大正15年〕1月9日	三浦之面会急用、本党脱党、元田翁之決定促し候、同氏脱党後政友会、元田翁之進退	墨書			1通	封筒
1	121	14	1	岡崎邦輔書簡	岡崎邦輔	田中義一	大正15年12月24日	島田氏来訪中央政況も委細ニ拝承	墨書			1通	封筒
1		14	2	岡崎邦輔書簡	岡崎邦輔	田中義一	大正15年12月25日	今朝七時崩御被為遊候、想像致置候如く床次氏	墨書			1通	封筒 (14-1と同梱)

田中義一関係文書(所蔵)

リール番号	コマ番号	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
1	138	15		岡崎邦輔書簡	岡崎邦輔	田中義一	昭和2年2月8日	先般三総裁之会合ハ当議会の無事たるを確保、本多熊太郎氏入党企望	墨書		日付の表記は「二月初八日」	1通	封筒
1	149	16		岡崎邦輔書簡	岡崎邦輔	田中義一	昭和2年4月15日	御英断之党則改正も本日之会議ニ於て決議、外交財政上之失態	墨書			1通	封筒
1	156	17		梶波吉次郎 他 書簡	梶波吉次郎、山田他与吉、村上貢	西園寺公望、田中義一	大正14年8月5日	今ノ我日本ノ国体ヲ改メテ共和政度ニセナケレハナラン皇室ヲ廢シ、東洋倶楽部員	ペン			1通	封筒
3	224-228	137		桂小五郎書簡	桂小五郎	良波	3月5日	大口之事故随分六ツケ敷も、福原一条も取紛	墨書		軸装	1通	
1	162	18		蒲穆書簡	蒲穆	田中義一	大正14年4月27日	今般御勇退政界ニ御活動被遊候ニ付テハ早速御丁寧ナル御挨拶ヲ忝フシ恐縮之至リ	墨書			1通	封筒
1	170	19		河合操書簡	河合操	田中義一	昭和2年4月19日	祝意ヲ表シ御成功ヲ祈リ候	墨書			1通	封筒
1	177	20		河合操書簡	河合操	田中義一	昭和2年4月28日	川崎銀行常務タル野々村金五郎、貴下ニ面談	墨書			1通	封筒
1	187	21		河合操書簡	河合操	田中義一	昭和2年9月16日	印度支那トノ通商議定書ノ件ニ付誤謬相生シ、野々村ノ如キ者を御任用相成リ	墨書			1通	封筒
1	198	22		河合操書簡	河合操	田中義一	昭和3年6月19日	野々村金五郎来リ別紙貴覽ニ供シクレトノ事	墨書			1通	封筒、別紙2枚 (①義務教育年限延長の件②経済参謀本部設立の件)
1	215	23		河合操書簡	河合操	田中義一	昭和3年6月30日	野々村金五郎氏ヨリ事(マ)局ニ付私見返言仕り度旨、川崎救済問題ニ付	墨書			1通	封筒
3	242-245	138	5	河合操書簡	河合操	田中寿天子	昭和4年6月21日	早速御出産為御知被下難有、貴家之御繁栄ヲ御祝ひ申上候	墨書		軸装	1通	封筒
1	223	24		川田明治書簡	川田明治	田中義一	大正14年4月27日	閣下が政界方面ニ於テ更ニ為国家御健闘被遊	墨書			1通	封筒
1	231	25		川村竹治書簡	川村竹治	田中義一	大正14年4月7日	総裁御就任ノ御決心、是非政本合同ヲ基本トシテ御考慮被遊候	墨書			1通	封筒
1	239	26		喜多又蔵書簡	喜多又蔵	田中義一	昭和4年7月5日	此度御退官相成	墨書			1通	封筒
1	246	27		木村聞三書簡	木村聞三	田中義一	大正14年4月19日	第三連隊長御当時ヨリ多大ノ御指導、御勇退ニ際シ御礼申述度	墨書			1通	封筒
1	253	28		清浦奎吾書簡	清浦奎吾	田中義一	〔昭和2年〕4月20日	内閣総理大臣ニ親任、対露支外交財界安定策ハ重要緊急之案件、其中拝鳳萬可申述候	墨書			1通	封筒

田中義一関係文書(所蔵)

リール 番号	コマ番 号	資料 番号	枝 番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述 法	用紙	備考	数量	付属資料
1	260	29		草生政恒書簡	草生政恒	田中義一	昭和2年1月23日	先日一寸御玄關まで伺候処御他事中ニ有之、此度之 党首御会合之結果政局を穩便ニ御納め被下候事	墨書			1通	封筒
1	269	30		草生政恒書簡	草生政恒	田中義一	大正15年2月22日	(前文欠) 年金百円で一家を支ふることの出来ぬの は明治三十七八年役当時でも同様に候	墨書			1通	封筒
1	290	31		草生政恒書簡	草生政恒	田中義一	大正15年5月26日	閣下之御成功は私等軍人之成功と存じ候、人心を新 ニするものは先づ左之数件之実行ニ在りと存じ候	墨書			1通	封筒
1	303	32		草生政恒書簡	草生政恒	田中義一	昭和2年4月30日	各銀行の放漫なる経営、支那問題には我国の、私が 大正八年九月に山縣公に建白せし、将校の進級を樂 にせんには、中等学校に英語漢文、政友本党は土崩 瓦解	墨書			1通	封筒
1	326	33		工藤鉄三郎書簡	工藤鉄三郎	田中義一	昭和2年2月11日	此度軍事刷新同志会及び小生等の名義を以て閣下 に対し談合を申込み居る者、開知せざる事に御座候	墨書			1通	封筒
1	332	34		久原房之助書簡	久原房之助	田中義一	[大正14年3月] 12日	洋館使用以合可申候か、例之吞象、若尾の話の件は 是非遂げさせてやり度、田中義一男今後ノ氣運	墨書		封筒の差出人表 記は「白金」	1通	封筒 別紙2点 (小玉吞象より久 原房之助宛書簡)
1	347	35		久原房之助書簡	[久原房之助]	[田中義一]	[昭和2年4月] 19日	先づ一段の宿望ハ遂げられ満足に存上候、横田の墓 へも行って報告	墨書		宛名表記は「青 山老兄」、差出 人表記は「白金 生」	1通	封筒
1	354	36		久原房之助書簡	[久原房之助]	[田中義一]	[昭和2年5月] 30日	別紙小切手例之水野直氏の分、扱て川崎問題、井上 ハ高橋三土に迎合可致	墨書		宛名表記は「青 山老兄」、差出 人表記は「白 金」	1通	封筒
1	364	37		栗田徳次郎書簡	栗田徳次郎	高村孝助	昭和7年12月17日	漢詩「吊屈子」、思想界につき憂慮被下度	ペ ン、 墨書			2通	封筒、栗田徳次郎 宛安藤忠治郎葉書 1通
1	373	38		来栖守衛書簡	来栖守衛	田中義一	昭和2年10月25日	別紙拙詩御一瞥之栄を賜はり	墨書			1通	封筒、別紙(漢詩 一枚)
1	381	39		小泉策太郎書簡	小泉策太郎	田中義一	大正15年1月17日	乾一件の新聞を見知り、高橋、興津二翁ニ対しては 此事ニ付	墨書			1通	封筒
1	390	40		小泉策太郎書簡	小泉策太郎	田中義一	大正15年3月1日	郷君の約束五日に変更申入候、水の(マ)、鈴木、 山梨三氏入会の事	墨書			1通	封筒
1	400	41		小泉策太郎書簡	小泉策太郎	田中義一	大正15年3月2日	浜田君が松島遊郭問題調査会を提議、党としては先 づ岩崎に査問して	墨書			1通	封筒
1	413	42		小泉策太郎書簡	小泉策太郎	田中義一	大正15年8月5日	令兄仙居後の御心傷	墨書			1通	封筒
1	424	43		小泉策太郎書簡	小泉策太郎	田中義一	大正15年8月5日	悪詩如左改候	墨書			1通	封筒

田中義一関係文書(所蔵)

リール番号	コマ番号	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
1	430	44		小泉策太郎書簡	小泉策太郎	田中義一	昭和3年5月14日	床次の事、木堂の事、望月の事、久原起用に至て相容るる能はざるは遺憾千万	墨書			1通	封筒
1	441	45		篁南書簡	篁南書簡	田中義一	[大正14年]	政友会秘密会内容左に申上候、野田君、岡崎君、小久保君、土屋清三郎、外字新聞チャイナプレスアドバルタイザークロニクル等の総裁評は一々切り抜き度	墨書		封筒には「隈溪」と記載	1通	封筒
1	457	46		河野恒吉書簡	河野恒吉	田中義一	昭和3年4月19日	中立組六名即ち明政会の態度ニ付、報知新聞今回の動揺は大隈が報知を純民政新聞として	墨書			1通	封筒
1	465	47		小久保喜七書簡	小久保喜七	田中義一	昭和4年2月23日	登壇を決心し種々取調候処、何故か前夜に至り内閣方より	墨書			1通	封筒
1	478	48		小久保喜七書簡	小久保喜七	田中義一	昭和4年4月21日	立憲宰相たるものは勅命の外帝国議会在明かに不信任の意思を表示したる以外には進退を考慮すべきものにあらず、宮中と枢密院に関する事は如何なることあるも政府は説明せざる	墨書			1通	封筒
1	494	49		小坂平書簡	小坂平	田中義一	大正14年4月23日	政界ニ投せられたる閣下之前途を祝福、揮毫を依頼	墨書			1通	封筒
1	501	50		児玉秀雄書簡	児玉秀雄	田中義一	5月26日	中立団体組織ニ付松本剛吉君山県老公並ニ田男爵ノ命ヲ承ケ、別紙記載ノ人々ニ御面会ノ際ハ夫レトナク加入御勧誘被下度	墨書			1通	封筒、別紙(中立議員の名前を列挙)
1	511	51		後藤新平書簡	後藤新平	田中義一	昭和2年4月20日	今回台命を拝せられ、敬賀之至	墨書			1通	封筒
3	235-236	138	2	西園寺公望書簡	西園寺公望	田中義一	大正13年1月14日	先以新正御多祥御迎歳、前途も急には安定ニ至り兼候	墨書		軸装	1通	封筒
3	237-238	138	3	西園寺公望書簡	西園寺公望	田中義一	大正13年1月15日	御来示之段感謝の到ニ候全て御同感ニ存候	墨書		軸装	1通	封筒
1	519	52		斎藤恒書簡	斎藤恒	田中義一	大正14年4月24日	今回政界ニ入ラセラレ候事ニ付キ御鄭重な御挨拶ニ接シ、小官カ多年念トす支那問題	墨書			1通	封筒
1	527	53		作間耕逸書簡	作間耕逸	田中義一	大正14年4月15日	政友会総裁、御祝詞	墨書			1通	封筒
1	533	54		島田俊雄書簡	島田俊雄	田中義一	昭和2年3月23日	腹藏なく開陳せんと思ひ居る一条は目焦(マ)の間に迫れる新幹部の詮考に関する愚見也	墨書			1通	封筒
1	569	55		島田俊雄書簡	島田俊雄	田中義一	昭和2年4月10日	軍縮会議へ特派必要、憲政会は既に入選を了したる様子、本多氏の如きに若イ代議士一人位イ同伴	墨書			1通	封筒 別紙(新聞切り)
1	577	56		島田俊雄書簡	島田俊雄	田中義一	昭和2年9月7日	休銀整理の件は、反対者を一蹴し	墨書			1通	封筒
1	589	57		末松偕一郎書簡	末松偕一郎	田中義一	大正14年4月20日	政友会総裁就任、御祝詞	墨書			1通	封筒

田中義一関係文書(所蔵)

リール 番号	コマ番 号	資料 番号	枝 番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述 法	用紙	備考	数量	付属資料
1	596	58		杉山茂丸書簡	杉山茂丸	田中義一	昭和2年4月23日	此次は外交の事此が致命症を胎む事、芳沢支那公使の外無之、背後ニ伊東伯犬飼(マ)老人などかチクチクしては	墨書			1通	封筒
1	607	59		杉山茂丸書簡	杉山茂丸	田中義一	[昭和3年] 2月10日	名刀拵、田中家隋(マ)一の宝物と存申候、御大典御祝儀として小生仕払献上候も不苦、此拵ハ巳代治伯に一度御見せ候	墨書			1通	封筒
1	617- 623	60		杉山茂丸書簡	杉山茂丸	田中義一	昭和3年9月16日	小生はドウ考へて見ても露国大使を此際に、一発の鉄砲が鳴つても閣下の内閣は粉碎可被致	ペン			1通	封筒
2	001	61		杉山茂丸書簡	杉山茂丸	田中義一	昭和3年11月29日	帝国無比の葬儀閣下一代の御責任無事御完了ニ相成	墨書			1通	封筒
2	009	62		杉山茂丸書簡	杉山茂丸	田中義一	4月17日	対露の件ハ御就任勿々拝謁言上致候、彼英国の如く断然として国交を御中止となるの外	墨書			1通	封筒
3	250- 257	139		田中義一書簡	田中義一	小倉信恭	大正10年8月4日	年来ノ希望通り郷里ニ巢ヲ構ヘ得タルハ頗ル愉快ニ存候、是等ノ計画及其実行又役場向キノ諸手續キ等	墨書		軸装	1通	封筒、萩町役場宛
2	027	63		土屋義幹書簡	土屋義幹	田中義一	昭和3年8月21日	在京勤務ヲ切望仕候何卒御配慮	墨書			1通	封筒
2	035	64		土屋義幹書簡	土屋義幹	田中義一	昭和3年12月18日	豊橋ニ於テ小官ノ身辺ニ関シ不詳ノ問題起リ甚々恐縮其真相御報導申上候	墨書			1通	封筒
2	043	65		津野田是重書簡	津野田是重	田中義一	昭和3年3月1日	民衆党ノ阿(マ)部、鈴木及亀井、西尾ノ四代議士ハ結局閣下之御手伝可申上候	墨書			1通	封筒
2	051	66		寺田正治書簡	寺田正治	田中義一	大正14年4月23日	御鄭重なる御挨拶状に接し恐入候	墨書			1通	封筒
2	056	67		田健治郎書簡	田健治郎	田中義一	昭和2年8月20日	松本剛吉儀昨日ヲ以テ貴族院議員ヘ親任	墨書			1通	封筒
2	062	68		道源権治書簡	道源権治	田中義一	大正14年4月20日	政友会総裁就任、三派協調之意味ニ於テモ奉慶賀候	墨書			1通	封筒
3	232- 234	138	1	徳川家達書簡	田中義一	徳川家達	1月7日	今般は意外ナル不祥事有之御退閣の必要相生、徳川好敏ニ関スル件親任陸相、閣下より可然御話置希候	墨書		軸装	1通	封筒
2	068	69		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	[大正14年] 4月9日	革新派等入党之都合ニテ総裁ハ他日御入党ノコトニ内定、床次氏ハ元京都府知事タリシ馬淵鋭太郎氏、興津ニ特派シ政友本党ノ合同ニ付公ノ斡旋ヲ求メ候	墨書			1通	封筒
2	081	70		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	大正14年4月14日	加藤首相ガ政友会側ノ事情ヲ無視シテ閣下ノ入閣ヲ強要スルハ、現内閣立脚ノ基礎ヲ軽ズルモノナリ、床次氏ハ園公ニ接近スル某氏ノ代理トシテ	墨書			1通	封筒
2	097	71		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	大正14年6月28日	園公御訪問ノ由、党员小野義一氏ハ大蔵ノ事情ニ通ジ有為の人物、党员竹田友次郎氏モ用フベキ人物	墨書			1通	封筒

田中義一関係文書(所蔵)

リール番号	コマ番号	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
2	111	72		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	大正14年10月3日	別冊を高閣ニ供シ候、最近政友会ノ方針、産業立国ノ方針ハ今日ノ世界大勢ニ鑑ミテ、雑誌記者高橋鉄太郎氏ハ一種ノ輩ニ有之	墨書			1通	封筒、別冊2点（1925年シカゴデイリーニュース再版翻訳「日本ノ見界ト太平洋問題」、「幣原外相ノ見界」）
2	182	73		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	大正14年11月9日	西園寺公爵ハ来十五六日頃ニ退京ノ内意アルヤニ推察致候、前日特ニ鳩山一郎氏ヲモ引見セラレ、奥繁三郎氏ノ息主一郎氏ヲ擁立	墨書			1通	封筒
2	198	74		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	大正15年2月22日	実業同志会ト本党トノ間即チ床次氏ト武藤氏トノ間ニ何カ交渉相試ミ居ル様子ニ候、関ハ各方面ヘ売込ミノ運動	墨書			1通	封筒
2	207	75		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	大正15年2月28日	研究会ノ幹部謀（マ）氏ハ現内閣ト本党トノ連立ヲ為ナサシメント策動、床次山本元田三氏ノ入閣ヲ見ルカ	墨書			1通	封筒
2	218	76		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	昭和2年4月22日	来ルベキ総選挙ノ準備を至急御高慮、此際至急伊藤公原公野田氏等墓前奉告ノ儀御執行相成	墨書			1通	封筒
2	228	77		中川小十郎書簡	中川小十郎	田中義一	昭和3年6月18日	日銀幹部ノ更迭、台湾総督ノ更迭、台湾総務長官後任、千葉ノ知事福永尊介氏ヲ御採用希望致候、優待問題ヲ十日間ニ亘リ掲載	墨書			1通	封筒
2	238	78		中村巍書簡	中村巍	田中義一	昭和2年3月14日	我ガ日本ト諸外国トノ関係ヲ考査シテ見マスルノニ	ペン			1通	封筒
2	267	79		中本左一書簡	中本左一		大正14年6月15日	我美弥郡ハ山口県ノ中央ニ位シ、鉄道ハ僅ニ山陽線厚狭駅ヨリ分岐セル美弥線、帝国ノ財政緊縮ノ方針ニ基キ本事業モ繰延、遺憾トスル所ナリ	墨書			1通	
2	280	80		南保貞次書簡	南保貞次	田中義一	大正14年4月23日	今般御志願御退職之趣、御成功ヲ収メラルヘクト期待	墨書			1通	封筒
2	287	81		二宮久二書簡	二宮久二	田中義一	大正14年5月1日	今般帝国在郷軍人会村松支部解散式ヲ挙クルニ際シ	墨書			1通	封筒
2	292	82		根津一書簡	根津一	田中義一	大正14年11月5日	日本現在之世態ニ鑑み所感有之知識階級之一分にてても修禪を流行為後考にて別冊杜草致候	墨書			1通	封筒、別冊1点（「禪ト思想界ノ関係」）
2	307	83		早川誠治書簡	早川誠治	田中義一	25日	此朝研究会之水野子より会見之申込有之、其節青木氏之床次氏ニ対スル同情及ビ床次氏より渡辺子ヲ介して	墨書			1通	封筒
2	316	84		林嶺信書簡	林嶺信	田中義一	大正14年5月31日	閣下今回政友会総裁に御就任、御祝詞	墨書			1通	
3	266-268	140	2	原敬書簡	原敬	伊藤博文	明治35年1月25日	御不在中政治上重要事ハ政友会ト政府トノ関係、謂ナキ風説ヲ放チ又党内ノ動揺ヲ挑発シテ、三名ノ巨魁ヲ除名シテ僅ニ黨員ノ分裂ヲ防キ候	墨書		軸装	1通	伊藤博文の外遊中の国内政治動向
2	320	85		原嘉道書簡	原嘉道	田中義一	2月11日	過刻宮中にて御内話之件石井子に問合、新聞記事之出处も心当りなき由	墨書			1通	封筒

田中義一関係文書(所蔵)

リール 番号	コマ番 号	資料 番号	枝 番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述 法	用紙	備考	数量	付属資料
2	325	86		福原俊丸書簡	福原俊丸	田中義一	大正14年4月11日	中央新聞結城礼一郎紹介、結城からの進言（青野と云ふ老人、旧自由党の老武者を集め一タ御馳走、西原は決して表へ出してはいけません）	墨書			1通	封筒、福原俊丸宛結城礼一郎書簡
2	339	87		藤沼武男書簡	藤沼武男	田中義一	昭和2年3月11日	憲本提携ニハ驚きました、首相を床次に譲るのは如何にも馬鹿馬鹿しい、今年も豫言しますが鳩山及鈴木（三郎（ママ））氏を重用して身に付けておきなさい	墨書	武男の用箋		1通	封筒
2	360	88		降旗元太郎書簡	降旗元太郎	田中義一	昭和2年6月22日	新聞の記事ニより御病状御案事申上居候	墨書			1通	封筒
2	366	89		[堀切善次郎] 書簡	[堀切善次郎]			政友会は政治圏内に於て孤立す	ペン		封筒には「堀切秘書」と記載	1通	封筒
2	386	90		松岡俊三書簡	松岡俊三	田中義一	大正13年9月18日	岡崎輩ハ不信取るに足らざる責任感の足らざる人物、西原君並に小生如き真情の発露するもの殆んど希なりと自信す、森格の将来を御認め相願度候	墨書			1通	封筒
2	405	91		松岡俊三書簡	松岡俊三	田中義一	昭和2年4月18日	十二分ノ個性ヲ發揮セラレテ大臣次官政務官其他ノ要人ヲ御選定セラレ度切望	墨書			1通	封筒
2	419	92		松田清彦書簡	松田清彦	田中義一	大正14年4月26日	御在職中之御礼申上	墨書			1通	封筒
2	424	93		松本剛吉書簡	松本剛吉	田中義一	大正13年12月23日	護憲三派協調ニ対シテハ其結束ヲ危ムモノアリ、伊東伯ハ近時頓ニ野心ヲ生シ未来ノ首相ヲ夢想シ薩派ト提携、憲政会ニ於テハ不平不満ヲ唱フルモノ多ク	墨書			1通	封筒
2	433	94		松本剛吉書簡	松本剛吉	田中義一	大正14年1月12日	政友本党ノ合同論者ハ去ル三日床次総裁カ西園寺公ニ向ヒ合同打切ヲ報告、教育費負担問題、飯野吉三郎事件	墨書			1通	封筒
2	440	95		松本剛吉書簡	松本剛吉	田中義一	大正14年1月16日	内府更迭ニ付薩摩ハ内府後任ハ牧野子ナリト、床次竹二郎氏大木伯等ノ一派、教育費国庫負担問題、上院改革問題ニ付研究会ニ於テハ、政本合同ノ到底成ラサル、脱党ニ決セリ	墨書			1通	封筒
2	446	96		松本剛吉書簡	松本剛吉	田中義一	大正15年4月15日	別紙切抜（校正できぬ政友会、若尾璋八氏遂に議員辞職を決心す）、御注意置願度、十九日興津へ参り二十日老公閣下ノ御俱ヲナシ帰京	墨書			1通	封筒、新聞切抜2点（4月15日付時事新報、東京毎夕新聞）
2	460	97		松本剛吉書簡	松本剛吉	田中義一	昭和2年2月9日	別紙情報入、何卒閣下限、床次総裁ガ不相応ナル自負心ヲ抱キ居ル為メ	墨書			1通	封筒、別紙1枚
2	469	98		松本剛吉書簡	松本剛吉	[田中義一]	昭和2年3月22日	現内閣ノ運命既ニ迫リシトテ近時山本伯、伊東伯、後藤子ノ邸ニ寄合ヒ中間内閣ヲ組織セント企ツル者アリ	墨書			1通	封筒無 罫紙三枚一綴り

田中義一関係文書(所蔵)

リール 番号	コマ番 号	資料 番号	枝 番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述 法	用紙	備考	数量	付属資料
3	239- 241	138	4	三浦梧楼書簡	三浦梧楼	田中義一	大正13年8月29日	軍縮論痛嘆之至、片々たる政治家共国体を死地ニ陥入れてもとの決心毛頭無之候一時之人気政策と云ふ外無之候へ共	墨書		軸装	1通	封筒
2	474	99		水野錬太郎書簡	水野錬太郎	田中義一	大正14年5月7日	山梨大将来訪御伝言之趣、政本の合同を為し過半数の政党を作り議會ニ臨むの必要有之、総裁の任ニ就かれ候上ハ直ちニ其方針に向はれ候様	墨書			1通	封筒
2	485	100		水野錬太郎書簡	水野錬太郎	田中義一	昭和2年3月9日	政友会更生之件、別紙之通り意見書を認め、横田千之助氏ニハ此事を話シ	墨書			1通	封筒 別冊(大正13年12月水野錬太郎筆、政友本党解党 新党樹立の意見書)
2	507	101		水野錬太郎書簡	水野錬太郎	田中義一	昭和3年8月4日	両外交、思想問題等ニ関シ挙国一致之御方針にて調査会御設けに、浜口君を御顧問に	墨書			1通	封筒
2	518	102		満川寛吉書簡	満川寛吉	田中義一	昭和4年7月4日	今般御退官被遊	墨書			1通	封筒
2	524	103		向井斉輔書簡	向井斉輔	田中義一	大正14年4月22日	陸軍ノ現職ヲ退キ政党総裁トシテ御就任ノ由祝賀申上候	墨書			1通	封筒
2	530	104		武藤信義書簡	武藤信義	田中義一	大正14年4月22日	今般現役御勇退候上政界ニ於テ御尽瘁、内外之状勢ニ鑑み慶賀惜候能はさる次第	墨書			1通	封筒
2	538	105		武藤山治書簡	武藤山治	河野英良	昭和3年1月30日	床次第三党に関する御意見は御尤も、貴君田中首相に御面会の機会、恩給法中の一部修正を要す	墨書			1通	封筒
2	549	106		武藤山治書簡	武藤山治	河野英良	昭和3年3月1日	今回は形の上より申せは選挙戦に敗れ、双方より個人的面会を求め来られ居る	墨書			1通	封筒
2	558	107		武藤山治書簡	武藤山治	河野英良	昭和3年3月3日	小生は公然新聞紙上公言致居り、小生の話の至点は財政問題故	墨書			1通	封筒
2	565	108		元田肇書簡	元田肇	田中義一	昭和2年6月23日	今朝之新聞ニ於数日間御静養ヲ要し候旨記載有之	墨書			1通	封筒
2	573	109		本山彦一書簡	本山彦一	田中義一	大正14年4月19日	閣下今回立憲政友会ノ重職ニ御就任、御祝辞	墨書			1通	封筒
2	581- 586	110		森山慶三郎書簡	森山慶三郎	田中義一	大正14年4月15日	御勇退、為国家御尽力被下候、御祝詞	墨書			1通	封筒
3	273- 284	141		山県有朋書簡	山県有朋	田中義一	[大正10年] 2月12日	一月十七日宮相来庵示談之節老生ハ久邇宮殿下ニ於て拝辞無之御決心なれハ、三十一日平田子爵来庵上奏之上枢密院に下附セられる事ハ今日之状勢、九日宮相来談奥議長及ひ原首相より彼一件速ニ御決行不相成てハ	墨書		軸装、宮中某重大事件関連	1通	封筒
3	001	111		山路一善書簡	山路一善	田中義一	大正14年7月2日	政友会総裁の栄位ニ就かれしより、小生如きも御用あらハ何時ニテモ閣下の傘下に、財部氏ハ相当の野心を抱藏し閣下の御計画ニ対しても種々妨害致居候	墨書			1通	封筒、新聞切抜

田中義一関係文書(所蔵)

リール 番号	コマ番 号	資料 番号	枝 番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述 法	用紙	備考	数量	付属資料
3	014	112		山梨半造書簡	山梨半造	田中義一	昭和3年7月(マ)2日	今回床次之民政党脱党は政界ニ一段之平穩ヲ来タシ、半島全部ハ微動不為致候ヘバ内地ト同様御安心	墨書		封筒の消印は8月2日(床次の民政党脱党は8月1日)	1通	封筒
3	023	113		山之内一次書簡	山之内一次	田中義一	昭和2年4月19日	内閣総裁之大命御拝受、謹て祝賀	墨書			1通	封筒
3	030	114		山本清次書簡	山本清次	田中義一	大正14年4月24日	多年在職中之御厚情に対して深厚なる謝意を表する	墨書			1通	封筒
3	036	115		吉植庄一郎書簡	吉植庄一郎	田中義一	大正15年7月10日	各地御遊説之赴感激之外無之候、昨日床次氏大阪より着府ニ付指宿を訪問次第数時間雑話	墨書			1通	封筒
3	048	116		芳沢謙吉書簡	芳沢謙吉	田中義一	昭和2年9月29日	従来盲目的に支那ニ同情ヲ表居候米国人等ガ当国ノ現状へ対し殆ド絶望的ノ意見ヲ抱懐シ来タリ、当地在留ノ一有力米国人数日前特ニ来訪ノ上	墨書			1通	封筒
3	059	117		龍池密雄書簡	龍池密雄	田中義一	昭和4年7月3日	今回御辞任相成	墨書			1通	封筒
3	065	118		若林半書簡	若林半	田中義一	昭和4年2月6日	政局ニ就テ卑見ヲ披歴、此際急遽秋山氏ヲシテ床次氏ノ胸襟ヲ披カシメ	墨書			1通	封筒

田中義一関係文書(所蔵)

リール番号	コマ番号	資料番号	枝番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述法	用紙	備考	数量	付属資料
2. 書簡 (田中龍夫関係)													
3	077	119		鶴野金弥書簡	鶴野金弥	田中龍夫	昭和20年6月27日	長野疎開工場始動式に参列、重要部品工場約二十数社の疎開計画が並行的に進行中、皇国第一七六六工場	ペン	軍需省罫紙		1通	自動車統制会封筒
3	084	120		外務省書簡	外務省	田中龍夫	昭和5年4月23日	丁抹国勲章返還に対する領票及び英譚	ペン、タイプ			1通	封筒、丁抹国(デンマーク)公使館からの書状及び英文翻訳文
3	092	121		元知功書簡	元知功	田中龍夫	8月8日	名刀一振拝領有難く厚く御礼申上候、高村氏宛の手紙	ペン	井ノ頭病院用箋		1通	封筒
3	098	122		小林中佐書簡	小林中佐	田中龍夫	7月13日	非常ニ懐カシキ御集リニモ拘ラス小官出張	墨書	ハガキ		1通	
3	102	123		高尾保養院書簡	高尾保養院	田中龍夫	昭和20年8月7日	清算書	ペン			1通	封筒
3	107	124		高倉徹一書簡	高倉徹一	田中龍夫		高村翁に対して、唯今速達差出御置候その要旨は	ペン	北鮮製紙化学工業株式会社郡山工場製用箋		1通	封筒
3	115	125		高村孝助書簡	高村孝助	田中龍夫	7月15日	舌代 一、鮎川氏の伊東土地問題に対する意見を承り	ペン			1通	
3	119	126		西村一松書簡	西村一松	田中龍夫	7月2日	小生研究の件に付松林先生より、父君大将閣下の秘書官たりシ井口延次郎氏ニ御伺ひ、今回の実験で万事完成とハ考へ居りしも	ペン			1通	封筒
3. 書類													
3	261-265	140	1	政治意見書草稿	[伊藤博文]			夫レ行政ノ大権ハ至尊ニ專屬シ、故ニ政党ノ論議可否スル所ハ国政ニ照シテ政府ノ最モ留意注思要スト雖政府ハ必シモ之ニ偏重スル能ハス	墨書	内閣罫紙	軸装	5枚	
3	127	127		「帝国の危機目睫ニ逼ル」	安藤忠治郎		大正14年2月18日	四個師団廃止関係資料、歩兵第六十八連隊管下在郷軍人及青年団諸子ニ檄ス	活版		同文2点	2点	
3	131	128		「悲痛なる排日記念日を前にして朝野の士に檄す」	太平洋文化協会		大正14年6月5日	アメリカの排日移民法批判資料	活版		朱書きで「松岡秘書へ」とあり	1点	
3	288-294	142		田中義一遺言書		田中義一	大正15年4月29日		墨書		書出し右上方に「河合ノ分」との墨書がある、全12条、軸装	1点	

田中義一関係文書(所蔵)

リール 番号	コマ番 号	資料 番号	枝 番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述 法	用紙	備考	数量	付属資料
3	134	129		総裁手許金出費年額 概算			昭和2年3月1日		墨書	罫紙		3枚	
3	139	130		告訴状〔写〕			昭和2年3月	告訴人（田代）、被告（元台湾銀行頭取森宏 蔵、元大蔵大臣浜口雄幸、片岡直温 他）	鉛筆	田中用 箋、男爵 田中義一 伝原稿用 紙	1点は「田中用 箋」11枚、1点は 「男爵田中義一 伝原稿用紙」25 枚、封筒	2綴	
3	173	131		「覚」				立憲政友会の政綱政策覚	ペン	田中用箋		3枚	
3	177	132		御容態書			昭和2年6月19日～6月 25日		墨書			1冊	
3	192	133		経過概要			昭和2年6月19日～6月 24日		墨書			1冊	
3	206	134		拙老の愚見一端			昭和3年4月3日	支那に対する当面の問題、張作霖の立場、馮玉祥と 露西亞	墨書			3枚	
3	213	135		滞菽日程			〔昭和4年〕7月29日 ～8月17日		ペン		田中用箋	5枚	
3	219	136		大庭一二郎漢詩	大庭一二郎	田中義一		漢詩	墨書			1点	

田中義一関係文書(所蔵)

リール 番号	コマ番 号	資料 番号	枝 番	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容	記述 法	用紙	備考	数量	付属資料
4. 軸装資料 ※「1. 書簡(田中義一関係)」と「3. 書類」に分出した重複データあり													
3	221	137		桂小五郎書簡	桂小五郎	良波	3月5日	大口之事故随分六ツケ敷も、福原一条も取紛	墨書		軸装	1通	
3	230	138	1	徳川家達書簡	田中義一	徳川家達	1月7日	今般は意外ナル不祥事有之御退閣の必要相生、徳川好敏ニ関スル件親任陸相、閣下より可然御話置希候	墨書		軸装	1通	封筒
3			2	西園寺公望書簡	西園寺公望	田中義一	大正13年1月14日	先以新正御多祥御迎歳、前途も急には安定ニ至リ兼候	墨書		軸装	1通	封筒
3			3	西園寺公望書簡	西園寺公望	田中義一	大正13年1月15日	御来示之段感謝の到ニ候全て御同感ニ存候	墨書		軸装	1通	封筒
3			4	三浦梧楼書簡	三浦梧楼	田中義一	大正13年8月29日	軍縮論痛嘆之至、片々たる政治家共国体を死地ニ陥入れてもとの決心毛頭無之候一時之人気政策と云ふ外無之候へ共	墨書		軸装	1通	封筒
3			5	河合操書簡	河合操	田中寿天子	昭和4年6月21日	早速御出産為御知被下難有、貴家之御繁栄ヲ御祝ひ申上候	墨書		軸装	1通	封筒
3	248	139		田中義一書簡	田中義一	小倉信恭	大正10年8月4日	年来ノ希望通り郷里ニ巢ヲ構へ得タルハ頗ル愉快ニ存候、是等ノ計画及其实行又役場向キノ諸手続き等	墨書		軸装	1通	封筒、萩町役場宛
3	258	140	1	政治意見書草稿	[伊藤博文]			夫レ行政ノ大権ハ至尊ニ専属シ、故ニ政党ノ論議可否スル所ハ国政ニ照シテ政府ノ最モ留意注思要スト雖政府ハ必シモ之ニ偏重スル能ハス	墨書	内閣野紙	軸装	5枚	
3			2	原敬書簡	原敬	伊藤博文	明治35年1月25日	御不在中政治上重要事ハ政友会ト政府との関係、謂ナキ風説ヲ放チ又党内ノ動揺ヲ挑発シテ、三名ノ巨魁ヲ除名シテ僅ニ党员ノ分裂ヲ防キ候	墨書		軸装	1通	伊藤博文の外遊中の国内政治動向
3	271	141		山県有朋書簡	山県有朋	田中義一	[大正10年] 2月12日	一月十七日宮相来庵示談之節老生ハ久邇宮殿下ニ於て拝辞無之御決心なれハ、三十一日平田子爵来庵上奏之上枢密院に下附せられる事ハ今日之状勢、九日宮相来談奥議長及ひ原首相より彼一件速ニ御決行不相成てハ	墨書		軸装、宮中某重大事件関連	1通	封筒
3	286-295	142		田中義一遺言書		田中義一	大正15年4月29日	全12条	墨書		書出し右上方に「河合ノ分」との墨書がある、軸装	1点	